五泉市農業委員会

令和4年 第4回 定例総会議事録

会議開催 令和4年4月28日(木) 午後2時00分
場 所 五泉市福祉会館 3階 大会議室

出席委員(19人)

1番 大湊 弘明	2番 渡辺 清滋
3番 今井 聡	4番 亀山 公子
	6番 高橋 喜美子
7番 川村 孝雄	8番 林 毅
9番 権平 孝男	10番 金子 信行
11番 小泉 和吉	12番 長谷川 亘
13番 渡邊 利雄	14番 羽賀 隆
15番 阿部 伸由	16番 樋口 勝俊
17番 酒井 美奈子	18番 加藤 健一
19番 松尾 タカ子	

欠席委員

5番 大槻 彰吉

関係説明者

局 長	山口 広也	次 長	五十嵐 敦
村松事務所長	本間 泰巳	係 長	阿部 隆
主 査	松村 徹		

日 程

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 総会成立宣言
4. 会期日程
5. 議事録署名委員の指名
6. 農地パトロールの報告
7. 議 件

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
議案第2号 農地転用事業変更承認申請について
議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について
議案第4号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農

地利用集積計画について

議案第 5 号 五泉市農業委員会農地等の利用の最適化に関する指針
(案)について

8. 報告事項

報告第 1 号 農地中間管理事業による農用地利用配分計画について

報告第 2 号 令和 3 年度農地移動結果について

司 会 それでは、ご案内の時間となりましたので、只今から、令和 4 年第 4 回定例総会を開催いたします。

会長からごあいさつをいただき、その後は、会議規則第 4 条により議長として進行をお願い致します。

会 長 ～～あいさつ～～

議 長 ただいまから、令和 4 年 第 4 回総会を開会いたします。

日程の「3 総会成立宣言」ですが、出席委員数は、19 人中、18 人で、定足数に達しておりますので、本総会は成立していることを宣言します。なお、5 番 大槻彰吉 委員より欠席の通告がありましたので報告いたします。

議 長 次に、日程の「4 会期の日程について」であります。本日 1 日限りとし、議事日程につきましては、お手元に配布の日程のとおりとすることで、ご異議ございませんか。

～～「異議無し」の声あり～～

議 長 「ご異議無し」ということで、左様決定いたします。

次に、日程の「5 議事録署名委員の指名について」であります。五泉市農業委員会会議規則第 13 条の規定により作成します議事録の署名委員の指名について、私に、ご一任いただけますか。

～～「異議無し」の声あり～～

議 長 それでは、議席番号 1 番 大湊弘明 委員、2 番 渡辺清滋 委員にお願いします。

また、議事録の記録員は、事務局阿部係長にお願いします。

なお、作成された議事録は、農業委員会の透明性を確保するため、公表することとなっております。五泉市のホームページで読むことが可能ですので、あらかじめお知らせいたします。

続きまして、日程「6 農地パトロールの報告」に入ります。

調査班の班長 8 番 林毅 委員から報告してもらいます。

調査班長（林毅 委員）

はい議長。議席番号 8 番、現地調査班 林です。

優良農地の保全と確保、無断転用の防止として 4 月の農地パトロールを実施しました。本日 9 時 00 分から私ほか、浅井 推進委員、岩野 推進委員、楯 推進委員と事務局の本間所長、阿部係長で管内を見て参りました。

五泉地区では、伊勢の川、能代、橋田、尻上、五十嵐新田、中川新、小山田、猿和田、笹堀、小搦、論瀬、一本杉、村松地区では、村松字放山、石曾根、矢津、安出、蛭野等を見て参りましたが、違反転用等の状況が見受けられなかったことを報告いたします。

議 長 只今の報告について、ご質問等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、報告のとおりとします。

続きまして、日程の「7 議件」の審議に入ります。

最初に、「議第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請について」を上程します。事務局より説明をお願いします。

阿部係長 はい、議長。

議 長 阿部係長。

阿部係長 はい議長。説明をいたします。

今回の農地法第 3 条の規定による許可申請は、総数 6 件で、売買が 3 件、贈与が 3 件となります。

個人情報や金額等については、あらかじめお送りした議案書をご確認いただくこととしまして、審査基準の項目について適合しているかなど、検討結果を中心に説明いたします。

3 ページをご覧ください。番号 1 番は、売買での所有権移転の案件となります。譲渡人の経営規模縮小のため、田 1 筆、面積 680 m²を議案書記載の金額で売買するものです。

7 ページの審査表をご覧ください。こちらでは、検討事項という欄で、許可できない条件として 7 項目が定められており、これらに該当していないことを示しております。

農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

3 ページに戻っていただき、番号 2 番は、売買での所有権移転の案件となります。譲受人の経営規模拡大のため、畑 2 筆、合計面積 1,101 m²を議案書記載の金額で売買するものです。

8 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

3 ページに戻っていただき、番号 3 番は、売買での所有権移転の案件となります。譲受人の経営規模拡大のため、畑 1 筆、面積 319 m²を議案書記載の金額で売買するものです。

9 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

3 ページに戻っていただき、番号 4 番は、贈与での所有権移転の案件となります。親から子への贈与で、畑 5 筆、田 10 筆、合計面積 6,687 m²を贈与するものです。

10 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

6 ページをご覧ください。番号 5 番は、贈与での所有権移転の案件となります。譲受人の耕作の便を図るため、畑 1 筆、田 1 筆、合計面積 96 m²を贈与するものです。

11 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

6 ページに戻っていただき、番号 6 番は、贈与での所有権移転の案件となります。譲受人の耕作の便を図るため、田 1 筆、面積 48 m²を贈与するものです。

12 ページの審査表をご覧ください。農地法第 3 条第 2 項各号に該当せず、許可要件を満たすと事務局では判断しております。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 　　ただいまの説明に関連して、現地調査班より補足説明をお願いします。

調査班長（林毅 委員）

はい議長。説明いたします。

番号 1 番は五十嵐新田地内の休耕田で、番号 2 番は安出地内の休耕畑、番号 3 番は蛭野地内の休耕畑で、番号 4 番は橋田および尻上地内の畑および田、番号 5 番は五十嵐新田地内の田で、番号 6 番は五十嵐新田地内の畑でありました。

特に問題がないと見てきましたので報告します。

議 長 　　ありがとうございました。これより質疑に入ります。ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 　　無ければ、採決に入ります。

「議第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第1号 農地法第3条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定されました。

続きまして、「議第2号 農地転用事業計画変更承認申請について」を上程します。事務局より説明をお願いします。

阿部係長 はい、議長。

議 長 阿部係長。

阿部係長 はい議長。説明をいたします。

今回の農地転用事業変更承認申請は総数3件で、計画者の継承が1件、用途の変更が2件となっております。

15ページをご覧ください。番号1番は別荘建築敷地として平成9年に転用許可を受けておりましたが、計画の履行ができなくなったため、計画を承継者が譲り受けるものであります。計画そのものの内容については5条許可申請も併せて提出されていますので、議第3号で説明いたします。

番号2番は砂利採取のための搬出入路および表土置場として令和3年に許可を受けておりましたが、砂利採取への用途変更を行うものであります。

28ページの審査表をご覧ください。許可区分については前回と変更なく「ア-(イ)-c」であります。

この許可区分ですが、本日配布しております「農地転用 許可基準に定める農地区分の該当事項」の上から3番目に該当しております。

申請地は笹堀地内の農振農用地区域内ですが、使用後に原形復旧することが前提となっており、一時転用はやむを得ないと判断しております。

15ページに戻っていただき、番号3番は砂利採取のための搬出入路および表土置場として令和3年に許可を受けておりましたが、砂利採取への用途変更を行うものであります。

34ページの審査表をご覧ください。許可区分については前回と変更なく「ア-(イ)-c」であります。申請地は一本杉地内の農振農用地区域内ですが、使用後に原形復旧することが前提となっており、一時転用はやむを得ないと判断しております。

以上、ご審議のうえ、ご承認いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決に入ります。

「議第2号 農地転用事業計画変更承認申請について」は、原案のとおり承認する

ことに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第 2 号 農地転用事業計画変更承認申請について」は、原案のとおり決定されました。

続きまして、「議第 3 号 農地法第 5 条の規定による許可申請について」を上程します。事務局より説明をお願いします。

阿部係長 はい、議長。

議 長 阿部係長。

阿部係長 はい議長。説明をいたします。

今回の農地法第 5 条の規定による許可申請は、総数 7 件で、売買 3 件、贈与 1 件、賃貸借 2 件、使用貸借 1 件であります。

37 ページをご覧ください。番号 1 番は能代地内の田 1 筆、面積 480 m²を農作業所、作物保管倉庫とする永久転用案件で、売買となります。

48 ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「ア-(イ)-b」であります。申請地は、もともと農振農用地区域でしたが、この度「農業用施設用地」への用途変更を県から許可されております。

この場合、農業用施設に限り転用が認められることとなり、今回の計画にある農作業所、作物保管倉庫は農業用施設に該当するため、転用は止むを得ないものと判断いたしました。

37 ページに戻っていただき、番号 2 番は伊勢の川地内の田 1 筆、面積 99 m²を宅地の拡張、具体的には駐車場にする永久転用案件で、売買となります。

54 ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「エ-(ア)-b-(c)」であります。申請地は、伊勢の川地内の都市計画用途地域内のため、第 3 種農地となります。第 3 種農地は転用を認めることとなっておりますので、転用は止むを得ないものと判断いたしました。

37 ページに戻っていただき、番号 3 番は論瀬地内の畑 4 筆、合計面積 560 m²を資材置場とする永久転用案件で、売買となります。

60 ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「カ-(ア)」であります。申請地は、論瀬地内の第 1 種でも第 3 種にも該当しない第 2 種農地で、小規模の生産性の低い農地であり周辺への影響も少ないと考えられるため、転用は止むを得ないものと判断いたしました。

38 ページをご覧ください。番号 4 番は先ほどご承認いただきました、農地転用事業計画変更承認申請と併せて申請されたもので、畑 1 筆、面積 346 m²を倉庫、作業所とする永久転用案件で、贈与となります。

66 ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「カ-

(ア)」であります。申請地は、中川新地内の第1種でも第3種にも該当しない第2種農地で、小規模の生産性の低い農地であり周辺への影響も少ないと考えられるため、転用は止むを得ないものと判断いたしました。

38 ページに戻っていただき、番号5番から番号11番は一つの案件となります。先ほどご承認いただきました、農地転用事業計画変更承認申請と併せて申請されたもので、小搦および笹堀地内の田10筆、合計面積7,090㎡を砂利採取場とする一時転用案件で、賃貸借となります。

73 ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「ア-(イ)-c」であります。申請地は、小搦および笹堀地内の農振農用地のため転用は認められておりませんが、一時転用については特例として認められております。使用後に原形復旧することが前提となっており、周辺への影響も少ないと考えられるため、一時転用は止むを得ないものと判断いたしました。

39 ページに戻っていただき、番号12番から番号15番は一つの案件となります。申請地は猿和田地内の田6筆、合計面積10,062㎡を砂利採取場とする一時転用案件で、賃貸借となります。

81 ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「ア-(イ)-c」であります。申請地は、猿和田地内の農振農用地のため転用は認められておりませんが、一時転用については特例として認められております。使用後に原形復旧することが前提となっており、周辺への影響も少ないと考えられるため、一時転用は止むを得ないものと判断いたしました。

40 ページをご覧ください。番号16番は矢津地内の田1筆、畑1筆、合計面積361㎡を個人住宅建築敷地とする永久転用案件で、親子間の使用貸借となります。

88 ページの審査表をご覧ください。許可基準に定める農地区分の該当事項は「カ-(ア)」であります。申請地は、矢津地内の第1種でも第3種にも該当しない第2種農地で、小規模の生産性の低い農地であり周辺への影響も少ないと考えられるため、転用は止むを得ないものと判断いたしました。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 　　ただいまの説明に関連して、現地調査班より補足説明をお願いします。

調査班長 (林毅 委員)

はい議長。説明いたします。

番号1番は能代地内の畑、番号2番は伊勢の川地内の休耕畑、番号3番は論瀬地内の休耕畑で、番号4番は中川新地内の休耕畑、番号5番から番号11番は小搦および笹堀地内の田、番号12番から番号15番は猿和田地内の田、番号16番は矢津地内の畑で、特に問題がないと見てきましたので報告します。

議長 　　ありがとうございました。これより質疑に入ります。ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

渡辺 清滋 委員 はい。

議 長 はい、渡辺委員。

渡辺 清滋 委員

議席番号2番、渡辺です。確認をさせていただきます。番号4番の譲受人はどういった団体なのか、また、転用目的が倉庫、作業所となっていますが、具体的には何に使うのかお聞かせください。

議 長 事務局。

阿部係長 はい、議長。

議 長 はい、阿部係長。

阿部係長 はい、渡辺委員の質問にお答えします。番号4番の譲受人はNPO法人でありまして、引きこもりや不登校といった児童の支援と健全育成を目標する団体であります。そして、今回の利用目的であります。計画にある建物を中心に様々なレクリエーション、野外活動などを通じて心身の向上を図りたい、というものであります。以上であります。

渡辺 清滋 委員

児童の支援、健全育成、現代社会においてどれも重要な活動だと思います。よく分かりました。ありがとうございます。

議 長 他にありませんか。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決に入ります。

「議第3号 農地法第5条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第3号 農地法第5条の規定による許可申請について」は、原案のとおり決定されました。

続きまして、「議第4号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画について」の、「あっせん審査委員会案件」についてお諮りします。

事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議長 松村主査。

松村主査 はい。議長説明いたします。

91 ページをご覧ください。

「あっせん審査委員会案件」とは農地の所有権移転を行う案件になります。

今月は14件の申し出がありました。

番号1番から14番の内容については、令和4年4月15日開催のあっせん審査委員会において審議し、あっせん登録者を審査し、近隣の状況等から妥当であるとの審査結果を得ています。

番号1番から12番は、売買の案件です。

番号1番は、面積986㎡。番号2番は、面積986㎡。番号3番は、合計面積8,790㎡。番号4番は、面積1,021㎡。番号5番は、合計面積6,998㎡。番号6番は、合計面積1,460㎡。

番号7番は、面積502㎡。番号7番は規定面積を満たしておりませんが、譲受人の子が申請中の番号6番の農地に隣接しており、合計面積が規定面積を超えるため申請を受理しました。

番号8番は、合計面積821㎡。番号9番は、面積927㎡。番号10番は、合計面積4,277㎡。番号11番は、合計面積8,531㎡。番号12番は、面積2,012㎡。これらを議案書記載の金額で所有権移転するものです。

番号13番、14番は、交換の案件です。番号13番は、合計面積2,006㎡。番号14番は、合計面積1,993㎡。それぞれを交換し、所有権移転するものです。

また、これらの所有権移転の内容は、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の内容で適合します。第3項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議長 無ければ、採決を行います。

「あっせん審査委員会案件」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議長 挙手全員でありますので、「あっせん審査委員会案件」は、原案のとおり決定されま

した。

続きまして、「通常案件」についてお諮りします。

この案件には委員が関係するものがありますので、そちらから先にお諮りします。100 ページから 101 ページの議案番号 6 番から 7 番は、関係委員が関係しますので、議事参与の制限により退室してください。

(関係委員 退室)

議 長 「通常案件」の議案番号 6 番から 7 番について事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議 長 松村主査

松村主査 はい。議長説明いたします。

100 ページをご覧ください。

「通常案件」とは、農地の貸し借りをを行う、「利用権設定」の案件です。

番号 6 番から 7 番は新規の利用権設定の案件です。番号 6 番は面積 2,660 m²。番号 7 番は合計面積 9,015 m²。これらを議案書記載の俵数で貸し借りするものです

この計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決を行います。

「通常案件」の議案番号 6 番から 7 番は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「通常案件」の議案番号 6 番から 7 番は、原案のとおり決定されました。関係委員は、入室して下さい。

(関係委員 入室)

議 長 続きまして、144 ページの議案番号 45 番は、本日の定例総会を傍聴されている農地

利用最適化推進委員である、関係推進委員が関係します。

自由な意見交換を担保するため、関係推進委員におかれましては、恐れ入りますが一時退席をお願いいたします。

(関係推進委員 退室)

議 長 それでは「通常案件」の議案番号 45 番について、事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議 長 松村主査。

松村主査 はい。議長説明いたします。

144 ページをご覧ください。番号 45 番は利用権設定の再設定案件です。番号 45 番は、合計面積 1,952 m²。これらを議案書記載の俵数で貸し借りするものです。

これらの計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決を行います。

「通常案件」の議案番号 45 番は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「通常案件」の議案番号 45 番は、原案のとおり決定されました。関係推進委員は入室してください。

(関係推進委員 入室)

議 長 続きまして、151 ページの議案番号 51 番は、関係委員が関係しますので、議事参与の制限により退室してください。

(関係委員 退室)

議 長 「通常案件」の議案番号 51 番について事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議 長 松村主査

松村主査 はい。議長説明いたします。

151 ページをご覧ください。番号 51 番は利用権設定の再設定案件です。番号 51 番は合計面積 1,684 ㎡。これらを議案書記載の俵数で貸し借りするものです

この計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

(何事か問う声あり)

議 長 それについては、先ほど議決した案件ですので、後で、議事の外でお願いいたします。

他にありませんか。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決を行います。

「通常案件」の議案番号 51 番は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「通常案件」の議案番号 51 番は、原案のとおり決定されました。関係委員は、入室して下さい。

(関係委員 入室)

議 長 続きまして、「通常案件」の議案番号 6 番から 7 番、議案番号 45 番と 51 番を除く案件について事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議 長 松村主査

松村主査 はい。議長説明いたします。

先程、ご審議いただいたものを含め、今月の通常案件は 64 件、その内、賃貸借の新規は 9 件、再設定は 55 件の申し出がございました。

98 ページからをご覧ください。議案番号 6 番から 7 番を除く、番号 1 番から 9 番は、新規の利用権設定案件です。

番号 1 番は、面積 2,656 m²、番号 2 番は、合計面積 2,041 m²、番号 3 番は、合計面積 4,084 m²、番号 4 番は、合計面積 5,772 m²、番号 5 番は、合計面積 6,756 m²。

番号 8 番は、面積 585 m²。番号 8 番は規定面積を満たしておりませんが、譲受人は隣接する農地を耕作しており、合計面積が規定面積を超えるため申請を受理しました。

番号 9 番は、面積 198 m²。番号 9 番は規定面積を満たしておりませんが、譲受人は隣接する農地を耕作しており、合計面積が規定面積を超えるため申請を受理しました。

それぞれを議案書記載の金額及び俵数で貸し借りするものです。

続きまして、101 ページをご覧ください。番号 45 番と 51 番を除く番号 10 番から 64 番つきましては、利用権設定の再設定の案件です。それぞれを議案書記載の金額及び俵数で貸し借りするものです。

これらの計画は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の内容で適合します。第 3 項の内容の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

(何事か問う声あり)

議 長 それでは、休憩します。

(休憩)

議 長 再開します。

他にご質問、ご意見はありませんか。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決を行います。

「通常案件」の議案番号 6 番から 7 番、議案番号 45 番と 51 番を除く案件は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「通常案件」の議案番号 6 番から 7 番、議案番号 45 番と 51 番を除く案件は、原案のとおり決定されました。

続きまして、「農地中間管理事業案件」についてお諮りします。
事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議 長 松村主査。

松村主査 はい。議長説明いたします。

162 ページをご覧ください。今月は、7 件の申し出がございました。番号 1 番から 7 番は、農地中間管理機構への賃貸借の案件となります。

番号 1 番は、合計面積 654 m²。番号 2 番は、合計面積 1,701 m²。番号 3 番は、合計面積 7,999 m²。番号 4 番は、合計面積 5,996 m²。番号 5 番は、合計面積 14,845 m²。番号 6 番は、合計面積 6,572.12 m²。番号 7 番は、合計面積 12,820 m²。これらを議案書記載の金額で貸し借りするものです。

今月は、総数 田 50,587.12 m²・畑 319 m²・計 4,000 m²を農地中間管理機構へ貸借します。これらの計画は、農地中間管理事業の推進に関する法律第 2 条第 5 項による農地中間管理権を設定するものであり、同法第 8 条第 3 項の事業規定に含まれるものがあります。事務規定の読み上げは省略します。

以上、ご審議のうえ、ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決を行います。

「農地中間管理事業案件」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「農地中間管理事業案件」は、原案のとおり決定されました。

続きまして、「議第 5 号 五泉市農業委員会農地等の利用の最適化に関する指針(案)について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

次 長 はい、議長。

議 長 五十嵐次長。

次 長 はい、議長。それでは私の方から「議第5号 五泉市農業委員会農地等の利用の最適化に関する指針（案）について」ご説明いたします。

農業委員会に関する法律第7条第1項で、農業委員会は「農地等の利用の最適化に関する指針」を策定しなければならないと規定されております。委員の改選となる3年ごとに検証・見直しを行うことになっておりますので、この度、令和元年度に策定した指針を見直し、委員の皆様へご意見を伺うものであります。

指針（案）をご覧ください。

1. 遊休農地の解消について、遊休農地の解消目標は、現状で1%以下となっているため、令和8年度末までに「ゼロ」を目標としますが、当面は1%以下の維持として、新規発生と再発防止に努めるものであります。

（2）遊休農地解消の具体的な取り組み方法としては、①～④のとおりとなっております。

2. 担い手への農地利用集積について、（1）担い手への農地利用集積目標ですが、国の指針では担い手への集積率8割が最終目標で、五泉市の耕地面積5,100haの8割は4,080haとなります。現在の集積面積2,774.42haを差し引くと1,305.58haでそれを令和8年度末までの5年間で達成しようとする、単年度あたりの目標面積は261haとなります。

（2）担い手への農地利用の集積・集約化に向けた具体的な取り組み方法としては、①～③のとおりとなっております。

3. 新規参入の促進について、（1）新規参入の促進目標ですが、過去3年間平均の新規参入が1経営体であったため、令和4年度から令和8年度までに5経営体（単年度で1経営体）を目指します。

（2）新規参入の促進に向けた具体的な取り組み方法としては、①、②のとおりとなっております。

以上、五泉市農業委員会農地等の利用の最適化に関する指針（案）について、ご審議の上ご決定いただきますようお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、採決を行います。

「議第5号 五泉市農業委員会農地等の利用の最適化に関する指針（案）について」は、原案のとおり決定することに賛成の委員は挙手をお願いします。

～～挙手全員～～

議 長 挙手全員でありますので、「議第5号 五泉市農業委員会農地等の利用の最適化に関する指針（案）について」は、原案のとおり決定されました。

続きまして、日程8「報告事項」に入ります。

「報告第1号 農地中間管理事業による農用地利用配分計画について」事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議 長 松村主査。

松村主査 はい議長報告いたします。

179 ページをご覧ください。第3回定例総会において議決され、農地中間管理機構へ貸付されました農地について、農用地利用配分計画を報告いたします。番号1番から2番は、賃貸借の案件となります。

番号1番は、合計面積877㎡。番号2番は、合計面積3,123㎡。これらを議案書記載の金額で貸し借りするものです。

以上報告いたします。

議 長 ありがとうございます。これより質疑に入ります。ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

渡辺 清滋 委員 はい。

議 長 渡辺 委員。

渡辺 清滋 委員

議席番号2番、渡辺です。今回の番号1番と2番ですが、契約の条件に2倍以上もの差がある訳ですが、何か理由があるのでしょうか。

議 長 事務局。

松村主査 はい、議長。

議 長 松村主査。

松村主査 はい、渡辺 委員の質問にお答えします。申請者に確認したところ、番号1番が穫れ高が悪いということで双方話し合いの上で決められた金額と聞いております。以上であります。

議長 ありがとうございます。渡辺 委員、どうでしょうか。

渡辺 清滋 委員

はい、分かりましたけれど、2 倍もの穫れ高に差があるということが、どうも頭に組み立てられないのですが、そういうことってあるのでしょうか。

議長 やはり農地というものは、色々な条件が重なって穫れ高に差が出ることは多々ありますので、ご理解いただきたいと思います。

渡辺 清滋 委員

例えば、穫れ高ばかりでなくて、流通だとか作業内容にリスクがあるから 2 倍、あるいは 2 分の 1 くらいの差があるという訳でなくて、まさに穫れ高なんでしょうか。

議長 その田んぼの条件の兼ね合いで、そういう契約となったのだと思いますけれど。

渡辺 清滋 委員

はい、分かりました。

～～質疑応答なし～～

議長 無いようでしたら、続きまして、「報告第 2 号 令和 3 年度農地移動結果について」事務局より説明をお願いします。

松村主査 はい、議長。

議長 松村主査。

松村主査 はい。議長報告いたします。

183 ページからをご覧ください。昨年度の農地移動について、法令ごとに集計しました。内容について報告いたします。

184 ページをご覧ください。まず、農地法第 3 条の移動件数ですが、上段に月別の件数を計上しました。年間移動件数は 39 件、面積が 72,611.43 m²でございます。移動内容については下段をご覧ください。

続きまして、185 ページをご覧ください。次に農地法第 4 条の移動件数ですが、年間移動件数は 4 件、面積が 3,249 m²でございます。移動内容については下段をご覧ください。「その他」の内容につきましては、駐車場、たい肥置場等となっております。

続きまして、186 ページをご覧ください。次に農地法第 5 条の移動件数ですが、年間移動件数は 54 件、面積が 63,007.30 m²でございます。移動内容については下段をご覧ください。「一時転用」の内容につきましては、砂利採取、砂利採取に伴う搬出管路、道路工事に伴う事務所等となっております。

続きまして、187 ページをご覧ください。次に基盤強化促進法による農地移動ですが、申請内容別、並びに月別件数について表にまとめてあります。

上段より、売買、交換による所有権移転、次に初めて貸し借りをを行う、利用権設定の新規、次に貸し借りの再契約を行う利用権設定の再設定、次に新規並びに再設定件数を合計した利用権設定件数。次に中間管理機構を用いた利用権設定件数を再掲しました。下段は、耕作者の変更などに伴う、合意解約件数を標記しております。年間移動件数と面積については、所有権移転が 62 件、面積 167,340.21 m²。利用権設定が 593 件、面積 3,122,687.10 m²。内、農地中間管理事業案件が 31 件、面積 262.828 m²でございます。

また、188 ページは基盤法の移動内容の内、担い手への集積分について集計してあります。移動内容については表記のとおりでございます。

以上、令和 3 年度 農地移動結果について報告いたします。

議 長 ありがとうございます。ただいまの説明につきましてご質問はございませんか。

～～質疑応答なし～～

議 長 無ければ、報告事項を終了いたします。

以上で、本日の総会の議案審議は終了しました。これをもちまして、令和 4 年第 4 回五泉市農業委員会総会を閉会いたします。

(午後 3 時 00 分 閉会)